



稲敷市 議会だより

第39号

発行日/平成27年2月1日



臨時会で議会構成決定	P 2
就任あいさつ・議員紹介	P 4
平成26年第4回定例会の報告	P 6
市政を問う一般質問（7名）	P 9
常任委員会の審査経過と結果	P 16

平成26年第2回 稲敷市議会臨時会

審議された議案とその結果

平成26年第2回稲敷市議会臨時会が市長の招集により、12月22日に開かれました。

本臨時会は12月14日の市議会議員一般選挙後、初の議会となるため、地方自治法第107条の規定により、木内義延 議員が臨時議長を務め開会宣告され、議長選挙を行いました。

その後、新議長の議事進行のもとで副議長の選挙から一部事務組合議会への選出議員選挙まで、議会人事に係わる諸案件が審議・決定されました。また、市長からは監査委員の選任案件、専決処分案件、紛争の仲裁案件が提出され、全会一致により同意・承認・可決され、新しい議会体制がスタートいたしました。

○議長選挙

浅野 信行 議員 当選

○副議長選挙

伊藤 均 議員 当選

その他、議会構成等に関する結果については下記をご参照ください。

議案番号	件名	審議結果
選挙第2号	議長選挙	選挙
	議席の指定について	指定
選挙第3号	副議長選挙	選挙
	常任委員会委員の選任について	選任
	常任委員会正副委員長の互選について	報告
	議会運営委員会委員の選任について	選任
	議会運営委員会正副委員長の互選について	報告
	議会だより編集委員会委員の選任について	選任
	議会だより編集委員会正副委員長の互選について	報告
選挙第4号	江戸崎地方衛生土木組合議会議員選挙	選挙
選挙第5号	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会議員選挙	選挙
選挙第6号	龍ヶ崎地方衛生組合議会議員選挙	選挙
選挙第7号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	選挙
議案第110号	監査委員の選任について	原案同意
議案第111号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度稲敷市一般会計補正予算 第7号）	原案承認
議案第112号	工事請負契約に関する紛争の仲裁について	原案可決

臨時会報告

○常任委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務教育常任委員会 (7名)	根本 光治	根本 浩	山口清吉・篠崎力夫・高野貴世志・伊藤 均 松戸千秋
	所管する 部署課	市長公室(秘書広聴課 政策審議室 庁舎建設推進室 企画課) 会計課 監査委員事務局 総務部(総務課 財政課 管財課 各総合窓口) 議会事務局 教育委員会(教育学務課 生涯学習課 子ども家庭課 認定こども園(江戸崎・桜川) 各給食センター 各公民館 図書館 歴史民俗資料館)	
市民福祉常任委員会 (7名)	岡沢 亮一	竹神 裕輔	遠藤一行・山下恭一・柳町政広・若松宏幸 寛 信太郎
	所管する 部署課	市民生活部(市民課 税務課 納税課 保険課 生活環境課) 保健福祉部(社会福祉課 保護室 高齢福祉課 いこいのプラザ)	
産業建設常任委員会 (6名)	篠田 純一	中村 三郎	木内義延・浅野信行・黒田茂勝・中沢 仁
	所管する 部署課	産業建設部(農政課 商工観光課 建設課 都市計画課) 農業委員会 上下水道部(下水道課 水道課)	

○その他の委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会 (6名)	柳町 政広	篠崎 力夫	根本光治・中村三郎・篠田純一・岡沢亮一
	主な所管業務	市議会の運営全般に係る方針や取り決め等	
議会だより編集委員会 (6名)	篠田 純一	若松 宏幸	根本光治・岡沢亮一・根本 浩・中沢 仁
	主な所管業務	議会だより発行に関する編集業務及び議会広報活動等	

○一部事務組合議会 選出議員

一部事務組合名	選出議員		
江戸崎地方 衛生土木組合 (6名)	遠藤一行・山下恭一・高野貴世志・中村三郎・松戸千秋・中沢 仁		
	主な所管業務	ごみ処理施設の設置管理、一般廃棄物の収集運搬業許可、火葬場 および斎場(聖苑香澄)の管理運営、公共的土木事業に関する事務	
稲敷地方広域 市町村圏事務組合 (4名)	柳町政広・根本 浩・寛 信太郎・黒田茂勝		
	主な所管業務	広域市町村圏計画策定、広域消防、養護老人ホーム(松風園) の管理運営、老人福祉センターの管理運営、職員の共同研修	
龍ヶ崎地方衛生組合 (4名)	山口清吉・篠崎力夫・竹神裕輔・若松宏幸		
	主な所管業務	し尿処理に関する事務	

○監査委員

議会選出監査委員	木内 義延
----------	-------

○茨城県後期高齢者医療広域連合

広域連合議員	浅野 信行
--------	-------

就任のごあいさつ

就任に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

市民の皆様には、平素より、市政並びに市議会に対しまして、格別のご理解と力強いご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、昨年12月の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。本市は、本年3月に市制10周年を迎えるなど、このような重要な時期に就任いたしますことは誠に身の引き締まる思いであります。今後とも、議会の果たすべき役割を十分認識し、公正かつ円滑な議会運営に努めるとともに、本市の発展と市民福祉の推進に、最善の努力を尽くす決意でございますので、よろしくお願い申し上げます。

現在、地方分権の推進など本市を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、教育や福祉の充実、さらには新庁舎建設、防災対策などを着実に推進していかねばなりません。さらに本市の人口減少問題、地域経済発展に寄与し、是非、住んでみたいまちを実現したいと考えています。私たち市議会は、従来慣例にとらわれることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、執行機関との真摯な議論により、有効な政策を推進し、諸課題の解決に全力を尽くしてまいります。また、自ら研鑽を深め、議会の改革、活性化にも努め、市民の皆様により一層信頼される議会をめざしてまいります。

市民の皆様には、今後とも市議会の活動や市政について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



議長 浅野 信行



副議長 伊藤 均

議員紹介



若松宏幸



根本浩



筧信太郎



黒田茂勝



中沢仁



中村三郎



松戸千秋



篠田純一



岡沢亮一



竹神裕輔



木内義延



篠崎力夫



柳町政広



高野貴世志



根本光治



山口清吉



遠藤一行



山下恭一

審議された議案とその結果

平成26年第4回稲敷市議会定例会が11月11日から21日までの11日間にわたり開かれました。市長より提出された議案は、専決処分2件、条例の一部改正6件、各会計補正予算案8件、剰余金の処分1件及び道路の廃止1件の合計18案件が上程されました。

開会日には、議案の他、請願3件の上程・付託が行われました。

最終日には、各委員長報告が行われた後、各議案及び各請願の採決が行われました。

議会の審査経過及び、議決の結果については下記をご参照ください。

【開催日】

【審議内容】

- 11月11日(火) 開会
議案等について市長の提案理由説明を受ける(18案件)。
請願3件を常任委員会へ付託。
(11月12日は議案調査のため休会)
- 11月13日(木) 議員による市政一般に関する通告質問を行う。【7名】
審査のため各常任委員会へ議案18件を付託する。
(11月14日は議案調査のため休会)
- 11月17日(月) 常任委員会審査【総務教育常任委員会】
- 11月18日(火) 常任委員会審査【産業建設常任委員会】
- 11月19日(水) 常任委員会審査【市民福祉常任委員会】
(11月20日は事務整理のため休会)
- 11月21日(金) 各常任委員長から付託議案に対する審査報告を受け、議案18件に対する討論、採決及び請願3件に対して討論、採決を行う。
議員発議により請願採択による意見書提出1件を追加議案として提出。
追加議案に対し、質疑、討論、採決を行う。
閉会

平成26年第4回 稲敷市議会定例会

稲敷市医療福祉費支給に関する条例の一部改正を可決

市単独助成の医療福祉費支給対象者を
高校3年生相当の年齢まで拡大

議案番号	件名	内容	付託委員会	審議結果 (賛成：反対)
議案第92号	専決処分の承認を求めることについて (稲敷市福祉事務所設置条例及び稲敷市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例)	父子家庭への支援拡大に伴い、法律名が、母子及び父子並びに寡婦福祉法へと改正されるため条例の一部改正するもの	市民福祉	原案承認 (20：0)
議案第93号	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度稲敷市一般会計補正予算(第5号))	茨城ゴールデンゴールの社会人野球日本選手権大会出場に伴い市後援会補助金を補正するもの	総務教育	原案承認 (20：0)
議案第94号	稲敷市部設置条例等の一部改正について	平成27年4月の機構改革に伴う関連4条例について一部改正するもの	総務教育	原案可決 (20：0)
議案第95号	稲敷市職員の給与に関する条例等の一部改正について	人事院による給与改定勧告に準じ所要の改正を行うもの	総務教育	原案可決 (20：0)
議案第96号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	不要となった公有財産等を譲渡金額や貸付料を減額又は無償とし、有効活用を図れるよう改正するもの	総務教育	原案可決 (20：0)
議案第97号	稲敷市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	市単独助成の医療福祉費支給対象者を高校3年生相当の年齢まで拡大するため改正するもの	市民福祉	原案可決 (20：0)
議案第98号	稲敷市国民健康保険条例の一部改正について	出産一時金支給額を改正するもの	市民福祉	原案可決 (20：0)
議案第99号	稲敷市水道事業の剰余金の処分等に関する条例の一部改正について	地方公営企業法の改正に伴い、所要の改正を行うもの	産業建設	原案可決 (20：0)

議案番号	件名	内容	付託委員会	審議結果 (賛成：反対)
議案第100号	稲敷市水道事業会計及び稲敷市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	地方公営企業の改正に伴い、未処分利益剰余金変動額を自己資本金へ組み入れるもの	産業建設	原案可決 (20：0)
議案第101号	平成26年度稲敷市一般会計補正予算（第6号）	農林水産業費、教育費を主とする増額補正により、予算総額を211億3,277万7千とする	各常任委員会	原案可決 (20：0)
議案第102号	平成26年度稲敷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	予算総額を58億9,869万3千円とする	市民福祉	原案可決 (20：0)
議案第103号	平成26年度稲敷市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	予算総額を4億3,061万7千円とする	産業建設	原案可決 (20：0)
議案第104号	平成26年度稲敷市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	予算総額を20億1,920万1千円とする	産業建設	原案可決 (20：0)
議案第105号	平成26年度稲敷市介護保険特別会計補正予算（第2号）	予算総額を33億8,694万円とする	市民福祉	原案可決 (20：0)
議案第106号	平成26年度稲敷市基幹水利施設管理事業特別会計補正予算（第2号）	予算総額を1億9,640万8千円とする	産業建設	原案可決 (20：0)
議案第107号	平成26年度稲敷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	予算総額を8億4,325万円とする	市民福祉	原案可決 (20：0)
議案第108号	平成26年度稲敷市水道事業会計補正予算（第1号）	資本的収入予定額を1,651万5千円、資本的支出予定額を2億6,885万4千円とする	産業建設	原案可決 (20：0)
議案第109号	市道路線の廃止について	道路改良後の重複認定部分や現況が未供用な市道4路線を廃止するもの	産業建設	原案可決 (20：0)
発議第5号	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書	提出者：根本 光治	—	原案可決 (20：0)

請願の審議結果

受付日	件名	提出者 住所・氏名	付託委員会	審議結果 (賛成：反対)
請願第4号 (H26.8.25)	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願	取手市 県南農民組合 組合長 渋谷 俊昭	産業建設	不採択 (1：19)
請願第5号 (H26.8.25)	政府による緊急の過剰米処理を求める請願	取手市 県南農民組合 組合長 渋谷 俊昭	産業建設	不採択 (1：19)
請願第6号 (H26.10.17)	「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願書	土浦市 日本の青少年の健全育成を推進する会 代表 木本 信男	総務教育	採択 (20：0)

※詳しい議決賛否は、市ホームページをご覧ください。

※議長は採決に加わりません。

第4回定例会には、7名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁について、要旨を紹介します。

市営住宅家賃滞納者への対応は



竹神裕輔
議員

産業建設部長 さまざまな対応により 徴収率を上げる

竹神 平成25年度決算ベースで、本市の市営住宅等使用料に関する滞納額は約413万円となっており、収納率は90%程度で毎年使用料の滞納が問題となっている。家賃の徴収を適切に行うことは公営住宅に係る業務を健全に継続する上で極めて重要なことである。そこで、市営住宅の家賃を滞納に対して、どのような対応をしているのか伺う。

産業建設部長 納期までに納付がない場合に督促状を発送し、3カ月間使用料を滞納した場合は、滞納者に対して連帯保証人に納付協力を依頼する旨の予告書を送るなどしています。また、訪問による滞納整理を行い滞納者のみならず、連帯保証人への訪問や個別に納付相談を実施し付を促すなど、さまざまな対応により徴収率を上げるよう努めています。

竹神 明け渡し努力義務を負う世帯（月収15万8,001円以上）、明け渡し義務を負う世帯（月収31万3,000円以上）の世帯数はどのくらいか。また、その世帯に対しての対応を伺う。

産業建設部長 住宅に困窮する低所得者とは言えない入居者は、30世帯です。また、高額所得者の入居は、1世帯です。今後の対応としては、高額所得者には、住宅を明け渡してもらえない場合は、明渡請求書の送付や呼び出し指導を行います。



公営住宅のあり方は（市営結佐住宅）



松戸千秋
議員

赤ちゃんの駅の設置を

教育部長 新規設置の調査検討を実施

松戸 乳幼児と一緒に、安心して外出が出来る環境づくりが必要であると考えます。外出先でむつ交換や授乳が出来るスペースがある市内各施設の現況と、今後このスペース「赤ちゃんの駅」の補助金制度導入や、イベントなどに利用できる移動式設備の貸出など、設置事業導入の考えはあるか伺う。

教育部長 建設が始まりました、新庁舎には、おむつ交換や授乳が出来るスペースの導入を予定しています。市内の商用施設では、大型店舗では設置が見受けられますが、それ以外では十分な現状であります。

今後、庁舎以外の公共施設や民間の小型店舗など、実情とニーズを調査確認し、協議をしてまいります。

また、組み立て式の授乳テントにつきましては、子育て支援センターにおいて計画をしていきます。



ネットによるトラブル対策を

田口市長 消費者教育の充実を図る

松戸 現在、ネット社会の進展による消費者トラブルが増加している。

稲敷市における被害相談の現状と、子どもたちも含めたネット利用の消費者教育について、伺う。

教育部長 小中学校の消費者教育の中で、ネットトラブルについて取り上げています。今後、早期段階での消費者教育の充実と、講習会の実施などに取り組んでいきます。

産業建設部長 市消費生活センターへのネットトラブルの相談件数は、24年度が21件、25年度が12件です。

取り組みとしましては、広報紙等での啓発や、相談員による出前講座を実施しています。消費者教育の推進計画は現在策定されておられません。

市長 ネット社会のトラブルに関する消費者教育は重要と考え、条例の制定について精査検討していきます。



山本 彰治
議員

ふるさと納税の活用のあり方は

田口市長 お礼の品として稲敷の農産物等を選択できるように

山本 ふるさと納税制度が始まって以来、全国の多くの自治体はこの制度を上手に利用しており、寄附金という枠を超えて、自治体のPRや話題づくりを狙うというような制度に変わりつつある。この制度を利用し稲敷市をアピールし、多くの稲敷ファンをつくるためには不可欠な制度と思うが、市では、どのような事を実施し、また検討しているのか伺う。

市長 本市の寄附件数と総額については、平成20年度以降、平成26年10月31日時点で、延べ28件、総額887万8,119円です。本市の寄附者へのお礼の状況ですが、お礼の品として、市のPRやイメージアップにつながる事が期待されることから、昨年度から「稲しきのあげ餅」の詰め合わせを贈呈しています。来年度から寄附をされた方が稲敷の農産物や観光資源を活用した優待券などが選択できるようにしていきます。

山本 以前から指摘されていたが、これまでに寄附をしていただいた寄付金は、これまで何に使われ、どういうふうにかたされてきているのかを伺う。

市長公室長 寄付金の基金活用の今後の考え方については、来年度の予算編成の中で、寄附者の方々の意向を尊重させていただき、該当する事業に充当していきます。

ふるさとへの
想いをかたちに



寄附金はこのような取組みに活用させていただきます。
稲敷市にお寄せいただいた寄附金につきましては、次のような事業へ活用させていただきます。
活用方法については、お申し込み時点で下記の中からお選びいただけます。

- 1 産業及び観光の振興に関する事業**
深緑コーポラティブスに対する支援(即ちイベント支援、記念品の贈呈など)や夏まつりなどのイベントへの助成、農林水産・畜産業の振興など

いなしき夏まつり
- 2 自然環境の保全に関する事業**
霞ヶ浦や利根川などの自然保護、田圃風景の保全など

オオセシクイ 和田公園
- 3 福祉の充実に関する事業**
高齢者や障害者、子育て支援など

障害者スポーツ大会 子育て支援事業
- 4 教育、文化活動及びスポーツ振興に関する事業**
教育環境の整備、生涯学習の推進など

国際交流推進事業 スポーツフェスティバル
- 5 その他、市長におまかせ(その他全般)**

ふるさと納税で稲敷市をPR



大湖 金四郎
議員



ラジオ局を開設し市の魅力発信を

田口市長 広域連携等を調査研究

大湖 ラジオを通して全国へ稲敷市の魅力の情報発信を、また、台風時など災害時に大きな力を発揮すると思われるラジオ局を開設し、安心安全で魅力ある稲敷市づくりのため、ラジオを通して全国にアピールしてはどうか。

市長 ラジオ局の開設については、自治体で開局することはできず、民間事業者に設置していただくこととなります。また、ラジオ局の開設については、採算

性を考え、市単独ではなく広域連携あるいは既存の放送媒体の活用など、調査研究をしていきたいと考えています。防災面については、防災行政無線に加え、スマートフォンなどが普及していることから、ラインやフェイスブック等を活用した情報発信を取り入れる方向で検討します。

稲敷市の将来像を問う

田口市長 稲敷に住みたいまちづくりに全力で取り組む

大湖 合併10年を迎えるに当たり、四つの地域の違いがあり、大変な行政運営ではなかったかと思う。その間、人口の減少、少子高齢化の進行、あらゆるところにひずみが生じている。合併10周年を機に、稲敷市の将来像を問う。

市長 平成27年度からは国からの地方交付税の減額に直面しており、これまで以上に事務事業の選択や効率化及び工夫を図りながら、公共施設の再編と有効利用を進めていきます。また、人口減少対策プランを推進するとともに、教育や子育て環境の整備、福祉・保健の充実、産業の振興、安全安心な都市基盤と生活環境の充実な

ど、稲敷に住んでいてよかった、稲敷に住みたいまちづくりに向けまして、全力で取り組んでいきます。



人口減少問題は重要課題



山口清吉
議員

改定介護保険の先送りと 特養護の増設を

保健福祉部長 介護保険策定委員会で検討

山口 介護保険制度が6月に改定され、医療介護総合法となった。内容は、要支援者1・2の除外や認定方法などのサービスの低下などがあり、新事業の移行を2017年3月末まで凍結すべきである。また、特別養護老人ホームを建設し、待機者の解消を図ってはいかがか。

保健福祉部長 新総合計画につきましては、介護保険策定委員会の中で検討を進めています。特別養護老人ホームにつきましては、現在既存の老人ホームに40床の増設を実施しています。それでも対応しきれない入所待機者の対応につきましては、計画策定委員会の中で検討しているところです。



26年産米の初検査

米価暴落の緊急対策を

田口市長 国の施策に合わせた農家の支援を

山口 米価暴落の原因は政府の政策による過剰米である。また、直接支払交付金の減額もこれに拍車をかけている。市として政府に需給調整と直接支払交付金を元に戻すよう要望する考えはないか、また、全ての米販売農家を対象に米一俵につき千円の補助金を出す考えはないか伺う。

市長 米の直接支払交付金制度については、平成29年度まで時限措置となっており、来年度も同額で概算請求されています。需給調整につきましては関係機関と調整を図り検討していきます。市単独補助金の拡大については、市は基本的に国の政策に準じた支援を行っています。国による経営所得安定対策への加入農家に対する、収入の一部補てん対策や、県の無利子による経営資金融資などを後押ししていきます。



浅野 信行
議員



ロタウイルス予防接種の助成を

田口市長 予防接種の有効性などを検討

浅野 ロタウイルスは、ほとんど
の子どもが感染する恐ろし

い感染症で、現在対策としては予
防接種しかないが、これは、高額
なものである。子育て支援として
この予防接種の助成の考えはある
か伺う。

市長 現在県内では5市町村が助
成をしています。ワクチン

の接種の条件は生後6週から24週
の間に、2〜3回の接種で、金額
は2万4千円〜3万円というよう
な金額です。市としましては、予
防接種の有効性などを十分に検討
し、方向性を決めていきます。

※ロタウイルスとは…主に下痢と嘔吐を伴う胃腸症状を引き起こすウイルス。感染するのは主に乳幼児で、発症すると40人に1人の割合で重症化すると言われています。

高齢者優遇制度の対応は

田口市長 高齢者のひきこもり対策として周知を

浅野 茨城県では高齢者優遇制度として12月から、飲食店やスーパーなどに参加を募り、料金の割引やポイント加算などのサービスを提供する高齢者優遇制度を始める。本市の対応はどのようにしているか伺う。

市長 高齢者の積極的な外出をそくすることが目的で、地域、企業、行政が一体となって支え合う機運を高めることを目的としています。

対象は高齢者で、シニアカードと呼ばれるカードを使って、協賛店舗でサービスを受けるものです。1人暮らしの方には、民生委員が、その他の方には、各総合窓口で交付をいたします。多くの方に理解いただけるよう、市内全域への周知を行っていきます。





黒田 正
議員

企業誘致の取り組みは

田口市長 江戸崎工業団地分譲を推進

黒田 平成24年12月定例会の一般質問で、市民の安定的な雇用確保、新たな雇用創出に向け、既存立地企業の支援及び企業訪問を行っていききたいとの答弁があった。その後、2年が経過し、その対応、行動、そして努力の成果を伺う。また、市内全域への緑地面積率の緩和策等、さらなる活性化を図るための他市町村との比較や協議、検討は行っているのか。

市長 工業団地の分譲を推進するため、用地取得助成金等の期限の延長を考えています。また、本年度の企業誘致活動については、地元銀行への情報提供や国際物流総合展や県人会などでも江戸崎工業団地を積極的にPRしています。

市長公室長 緑地率の緩和の取り組みは、圏央道建設促進協議会を通して県の認可を得るような形で進めており、先進地である筑西市に伺い、内容を確認しすぐに取り組みでいきたい。

市長の目指す重要施策は

田口市長 優良企業の誘致、人口減少対策に取り組む

黒田 稲敷市は、茨城県の将来消滅都市の第5位となっている。そこで、人口減少対策を初めとし、明るく希望に満ちた稲敷市をつくるために、市長の目指す重要施策とは何か、今後何を柱として行政運営を行うのか伺う。

市長 現在、新庁舎の建設を初め、公共施設の統廃合、そして学校の再編成など、公共施設の全体の見直しに着手しています。また、行政改革も進めてきており、厳しい状況の中でも存続できる稲敷市の土台づくりに着手しています。さらに圏央道が平成27年度には東関東自動車道まで開通となり、関東の主要都市が結ばれるこの時期こそ大きなビックチャンスととらえ、農商工業の活性化、優良企業の誘致を推進していきたい。また、課題で

ある人口減少にも歯どめをかけ、若い方々の定住や流入を促進するため、考えられるあらゆる施策に取り組みます。



さらなる企業の誘致を（江戸崎工業団地）

総務教育常任委員会

委員長 根本 光治

第4回定例会において付託された5議案及び請願1件の主な審査概要並びに結果について報告します。

議案第93号専決処分承認を求めることについて(平成26年度稲敷市一般会計補正予算第5号)では、既定の予算額に200万円を追加し、歳入歳出予算総額を209億7,386万9千円とし、茨城ゴールデンゴールの、第40回記念社会人野球日本選手権大会出場にあたり、稲敷後援会への補助金であることの説明がありました。

議案第94号稲敷市部設置条例等の一部改正については、新庁舎業務への移行に向け、平成27年4月から行政組織の再編にあたり、部名の変更及び課の新設等を行うため、一稲敷市部設置条例の一部を改正するもので、主な内容は市長公室を政策調整部と改め、総務部に危機管理課を設置し、生活環境課を環境課に改める説明がありました。

議案第96号財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正については、公有財産としての用途を廃止したことによる普通財産を産業の振興、雇用の創出等、地域の活性化に資する事業を行う他の機能等に、減額若しくは無償で譲渡又は貸付け等を行うことができ

るよう財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する説明がありました。

委員からは、都市計画法等の規制により用途が制限されることがあるので、関係課と連携し活用を図ることの、意見が出されました。

平成26年度稲敷市一般会計補正予算(第6号)の審査では、歳入歳出共に1億5,890万8千円を追加し、総額を211億3,277万7千円とし主な内容は、人事院勧告による一般職員給与等の改定に伴う予算の組み替え5,349万円を計上し、個人事業主の所得税源泉徴収漏れに伴う経費1,762万7千円、幼稚園及び小・中学校等の施設維持管理費3,644万6千円を計上し、歳入については、前年度繰越金を1億2,081万7千円、公債費は、旧簡易生命保険資金の借入利率の見直しによって、償還利子を405万8千円減額、元利均等償還のため、償還元金は186万6千円増額する説明がありました。

付託された5議案全て原案可決すべきものと決定しました。請願第6号「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する請願では、審査の結果、賛成全員により採択すべきものと決定しました。

市民福祉常任委員会

委員長 松戸 千秋

第4回定例会において付託された7議案に関する主な審査経過と概要について報告します。

議案第92号 稲敷市福祉事務所設置条例及び稲敷市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について(専決処分)の、主な内容は、「母子及び寡婦福祉法」の一部改正の施行に伴い、当該各条例に改正の必要が生じたための専決処分との説明がありました。

審査の結果、全会一致により原案承認すべきものと決定いたしました。

議案第97号 稲敷市医療福祉費支給に関する条例の一部改正についての主な内容は、市独自で助成対象者の拡充を図るもので、現在、中学3年生までの対象を、高校3年生相当まで拡大するとの説明がありました。

審査の結果、全会一致により原案可決すべきものと決定いたしました。

議案第98号 稲敷市国民健康保険条例の一部改正についての、主な内容は、被保険者が出産したときに支給する「出産育児一時金」を39万円から40万4千円に引き上げるものであるとの説明がありました。

審査の結果、全会一致により原案可決すべきものと決定いたしました。

議案第101号平成26年度稲敷市一般会計補正予算(当委員会所管部分)についての主な内容は、人件費として、人事院勧告による給与改定及び定期人事異動による職員構成の変動による増額補正等であるとの説明がありました。このほか、消防施設整備事業、ハートピアいなしきの修繕料、ふれあいセンターの維持管理費の追加補正等が説明されました。

審査の結果、全会一致により原案可決すべきものと決定いたしました。

議案第102号平成26年度稲敷市国民健康保険特別会計補正予算124万円の追加補正、議案第105号平成26年度稲敷市介護保険特別会計補正予算481万円の追加補正、及び、議案第107号平成26年度稲敷市後期高齢者医療特別会計補正予算24万円の追加補正で、いずれも、人事院勧告による一般職員給与等の改定等であるとの説明がありました。

審査の結果、3特別会計補正予算全てが、全会一致により原案可決すべきものと決定いたしました。

産業建設常任委員会

委員長 大湖 金四郎

第4回定例会において付託された8議案及び2請願に関する主な審査概要並びに結果について報告します。

議案第99号、水道事業の剰余金の処分等に関する条例の一部改正については、水道事業に規定している剰余金の処分について工業用水道事業についても同様の規定とするとの説明がありました。

議案第100号、水道事業会計及び工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、未処分利益剰余金のうち地方公営企業の会計制度の改正に伴い、みなし償却制度が廃止されたことにより発生する未処分利益剰余金変動額について、それぞれ自己資本金へ組み入れるものとの説明がありました。

議案第101号、一般会計補正予算第6号では、農政課所管の農地中間管理事業における協力金対象について質疑があり、対象となるのは新規に利用権設定した農業者であることが答弁されました。

議案第103号、農業集落排水事業特別会計補正予算では、給与改定等に伴う職員給与関係経費の増額を行うものとの説明がありました。

議案第104号、公共下水道事業特別会計補正予算では、給与改定等に伴う職員給与関係経費の増額及び江戸崎・東処理区における整備事業費を増額するものとの説明がありました。委員からは、東処理区の範囲については質疑があり、平成21年度に東処理区が拡大され椎塚・高田地区等まで範囲が拡大されていることが説明されました。

議案第106号、基幹水利施設管理事業特別会計補正予算では、十余島用水機場の揚水ポンプ修繕のためであることが説明されました。

議案第108号、水道事業会計補正予算では、主なもので配水管布設工事に伴う消火栓設置工事4基分で工事負担金の増額補正であることが説明されました。

議案第109号、市道路線の廃止については、市道路線の重複の理由について質疑があり、道路改良時に廃止しなければならぬものが廃止していなかった為との答弁がされました。

審査の結果、議案8件については全会一致により可決すべきものと決しました。

請願第4号及び5号については、審査の結果、不採択すべきものと決定しました。

◆ 請願・陳情について ◆

市民の皆さまの希望や意見を、直接市政に反映させるための制度として請願と陳情があり、だれでも議会に提出することができます。請願（陳情）書は、書面でのみ受け付けます。議会事務局までご持参してください。

紹介議員が必要なものを「請願」、ないものを「陳情」と呼び、受理した請願や審査対象となった陳情の議決結果は、提出者にそれぞれ通知します。

【請願（陳情）書の提出方法】

1. 請願（陳情）の趣旨（願意・理由）は、市議会に対して何を

<p>(表紙)</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）</p> <p>(請願書の場合)</p> <p>紹介議員 氏名</p>	<p>(本文)</p> <p>〇〇〇〇〇に関する請願（陳情）</p> <p>(趣旨)</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>稲敷市議会議長 様</p> <p>請願書（陳情者）住所 氏名</p>
---	--

- 求め、何をしてほしいのかできるだけ具体的に、また、簡明瞭に記載してください。なお、必要に応じて図面やその他の資料を添付してください。
- 内容の異なる2つ以上の事項を請願（陳情）する場合は、別々の請願（陳情）書としてください。
 - 請願（陳情）書には、提出年月日、請願（陳情）者の住所・氏名（法人・任意団体の場合は、その所在地・名称・代表者氏名）を記載し、押印してください。
 - 請願（陳情）者が複数の場合には、代表者の氏名を記載し、外何名としてください。
 - 請願書には、紹介議員1名以上の署名または、記名押印が必要です。
 - 請願（陳情）書は、原則としてA4判の用紙に横書きとし、正本1部を提出してください。
 - 受付は、市議会事務局にて随時受理していますが、原則として毎定例会（3月・6月・9月・12月）開会予定日の10日前までに提出されたものが、その定例会の取り扱ひとなります。それ以降に提出されたものは、次の定例会に付議されます。
- ※請願書・陳情書について不明な点は、市議会事務局までお問い合わせください。

広域組合議会・役職者

江戸崎地方衛生土木組合

新・正副議長決定

稲敷市議会議員の改選により、去る平成27年1月14日に開催された第1回組合議会臨時会において、議長に稲敷市の高野貴世志議員、同じく副議長に松戸千秋議員が当選されました。



松戸千秋
(副議長)



高野貴世志
(議長)

傍聴してみませんか!

次回定例会開催予定は

2月24日 (火) となります。

市議会は、傍聴できます。

この11月議会(定例会)では、期間中、のべ11人の皆さまが傍聴しました。稲敷市役所東庁舎の2階で当日に受付けています。

また、議場傍聴ではなく、庁舎1階ロビーにあるテレビで議会中継を傍聴することもできます。

議会の傍聴は、稲敷市役所東庁舎2階で開催当日に受付けています。傍聴については、

- ① 受付時間は午前8時30分から(先着順)
- ② 傍聴の予約はできません
- ③ 傍聴席は25席まで
(別途、報道関係5席)
- ④ 議場で傍聴できなくても庁舎1階のテレビで議会の生中継を傍聴できます など

以上のことにご注意いただき、傍聴にお越しく
ださい。

次回の定例会の詳しい日程については、議会事務局までお問い合わせください。

☎ 0299-78-3390 (直通)

FAX 0299-78-3396

市議会ホームページをご覧ください

会議日程や会議結果、議員名簿などを掲載しているほか、議会の録画放送も掲載していますので、ぜひご覧ください。また、新たな情報伝達の手段として稲敷市Twitter(ツイッター)で、議会情報の提供を行っています。

稲敷市ホームページ <http://www.city.inashiki.lg.jp/>

稲敷市ツイッター https://twitter.com/inashiki_city

稲敷市議会

検索